

取扱説明書

フィールドロガー DL30 シリーズ

Web ロガー2 用 作画ソフトウェア

形式 **DL30 Web Designer**

目次

1. はじめに	4
1.1 取扱説明書の対応バージョン	4
2. インストールと起動	6
2.1 入手方法とインストール準備	6
2.2 インストールする	7
2.3 アンインストールする	9
2.4 ショートカットから起動する	10
2.5 プロジェクトファイルから起動する	10
3. プロジェクト	11
3.1 プロジェクトの保存先を登録する	11
3.2 新規プロジェクトを作成する	12
3.3 既存プロジェクトを開く	12
3.4 プロジェクトを上書き保存する	13
3.5 プロジェクトに名前を付けて保存する	13
3.6 プロジェクト設定を変更する	14
3.7 アプリケーション設定を変更する	15
4. 画面	16
4.1 画面を追加する	16
4.2 画面のプロパティを編集する	17
4.3 画面をコピーする	18
4.4 画面を削除する	19
4.5 部品を配置する	20
4.6 部品のプロパティを編集する	21
4.6.1 共通	21
4.6.2 ランプ	23
4.6.3 ボタン	24
4.6.4 画面切替	25
4.6.5 数値表示	25
4.6.6 数値入力	26
4.6.7 バーグラフ	26
4.6.8 状態情報	27
4.6.9 テキスト	27
4.6.10 装置情報	27
4.6.11 直線	28
4.6.12 四角形	28
4.6.13 三角形	28
4.6.14 円	28
4.6.15 画像	29

4.7	部品を移動する	30
4.8	部品をリサイズ(サイズ変更)する	31
4.9	部品のレイヤ(表示階層)を操作する	32
4.10	部品を整列する	33
4.11	部品をコピーする	34
4.12	部品を削除する	35
4.13	部品の初期表示状態を切り替える	36

5. Web ロガー2 との接続 37

5.1	接続先を確認する	37
5.2	接続先を設定する(ネットワーク)	38
5.2.1	ネットワークリストに接続先を追加する	39
5.2.2	ネットワークリストの接続先を変更する	40
5.3	接続先を設定する(USB)	41
5.4	画面のプレビューを表示する	42
5.5	作成した画面を Web ロガー2 に転送する	43
5.6	転送した画面を Web ブラウザで表示する	44

6. バージョン情報 45

6.1	バージョン情報を表示する	45
-----	--------------	----

7. 付録 46

7.1	仕様	46
7.1.1	対応 OS	46
7.1.2	対応端末・ブラウザ	46
7.1.3	プロジェクトの仕様	46
7.2	トラブルシューティング	47
7.2.1	画面	47
7.3	変更履歴	48
7.3.1	Ver1.1 での変更点	48
7.3.2	Ver2.0 での変更点	48
7.3.3	Ver2.1 での変更点	48
7.3.4	Ver3.0 での変更点	48
7.3.5	Ver3.1 での変更点	48
7.3.5	Ver3.2 での変更点	48
7.3.5	Ver3.3 での変更点	48
7.4	ライセンス	49

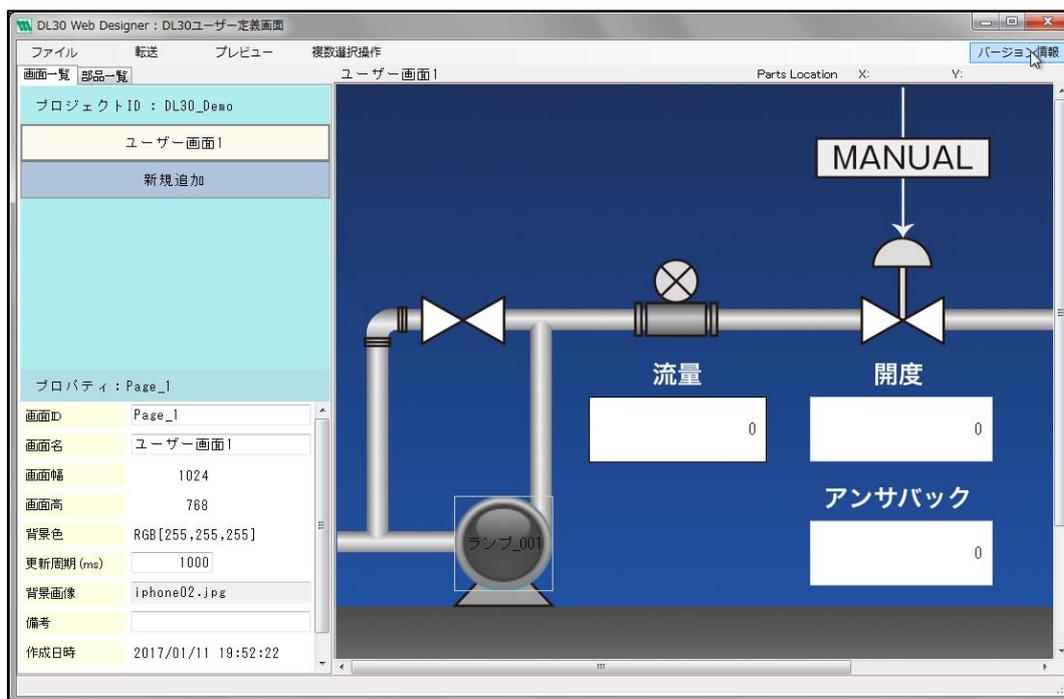
1. はじめに

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認ください。

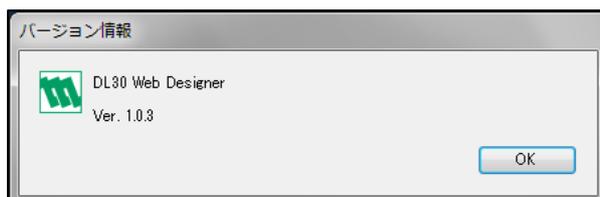
1.1 取扱説明書の対応バージョン

本取扱説明書の対応バージョンは以下のとおりです。
本取扱説明書は、DL30 Web Designer のバージョン 3.3.0 以降に対応しています。
DL30 Web Designer のバージョンは以下の方法で確認できます。

ヘッダーの[バージョン情報]メニューをクリックします。



バージョン情報画面が表示されます。



特記事項

- DL30 Web Designer バージョン 3.0.0 以降で作成したプロジェクトは、これより前のバージョンの DL30 Web Designer で開くことはできません。

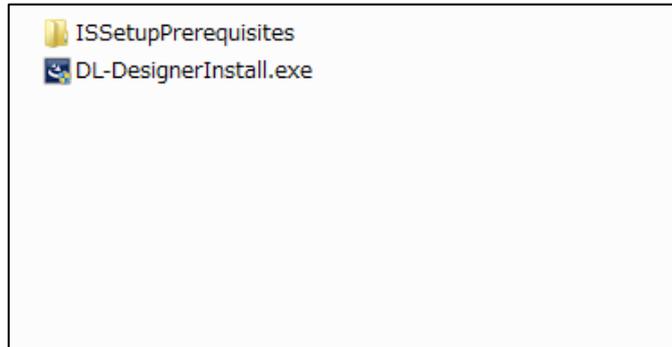
2. インストールと起動

2.1 入手方法とインストール準備

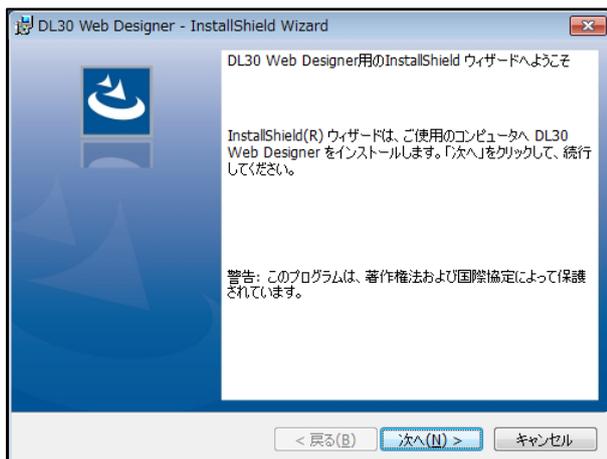
DL30 Web Designer を弊社のホームページよりダウンロードし、任意のフォルダに解凍してください。圧縮ファイルを解凍すると「DL-DesignerInstall.exe」が作成されます。

2.2 インストールする

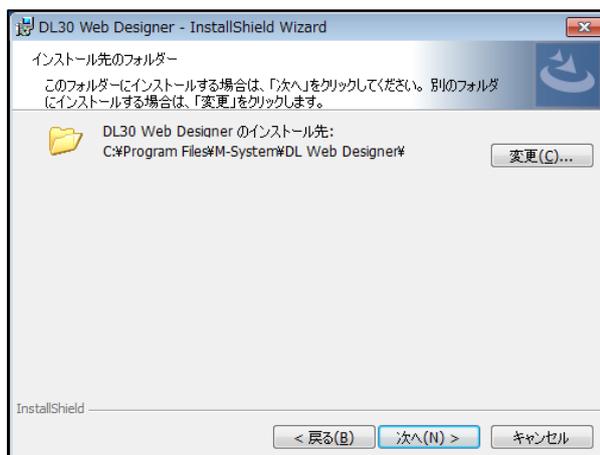
「DL-DesignerInstall.exe」ファイルを実行します。



インストールウィザードが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



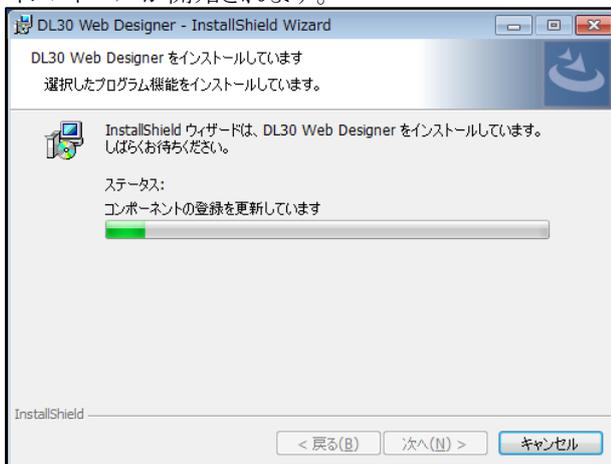
必要に応じてインストール先を変更し、「次へ」ボタンをクリックします。



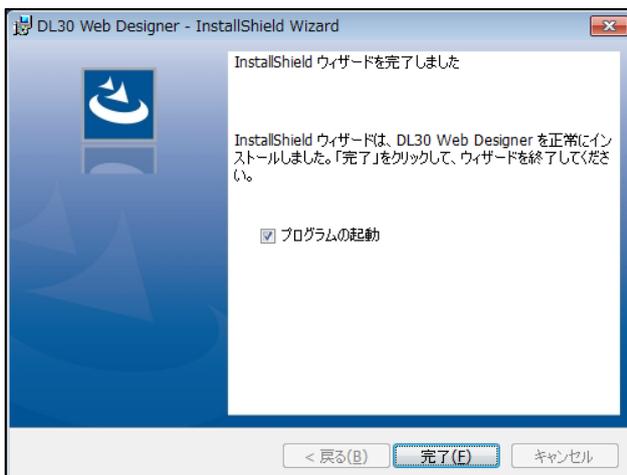
現在の設定を確認し、「インストール」ボタンをクリックします。



インストールが開始されます。



インストールが完了したら、「完了」ボタンをクリックします。



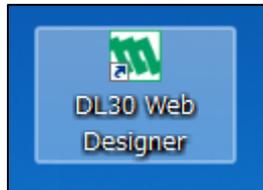
2.3 アンインストールする

バージョンアップ等で DL30 Web Designer を再インストールする場合は、いったんアンインストールしてから再インストールする必要があります。

アンインストールは、パソコンの「コントロールパネル」より行います。ご使用の OS により手順が異なりますので、詳細は各 OS の解説等をご確認ください。

2.4 ショートカットから起動する

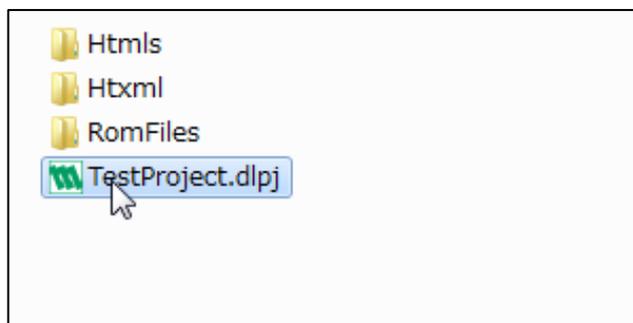
- ① 「DL30 Web Designer」ショートカットを開きます。
- ② DL30 Web Designer が起動します。



※「DL30 Web Designer」ショートカットは、インストール完了時にデスクトップへ作成されます。

2.5 プロジェクトファイルから起動する

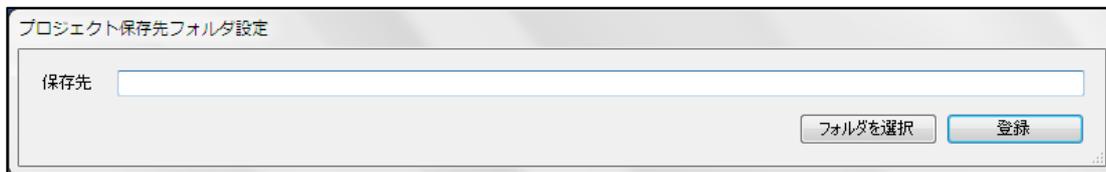
- ① DL30 Web Designer で作成したプロジェクトファイル(.dlpj)を開きます。
- ② DL30 Web Designer が起動し、対象のプロジェクトが開かれます。



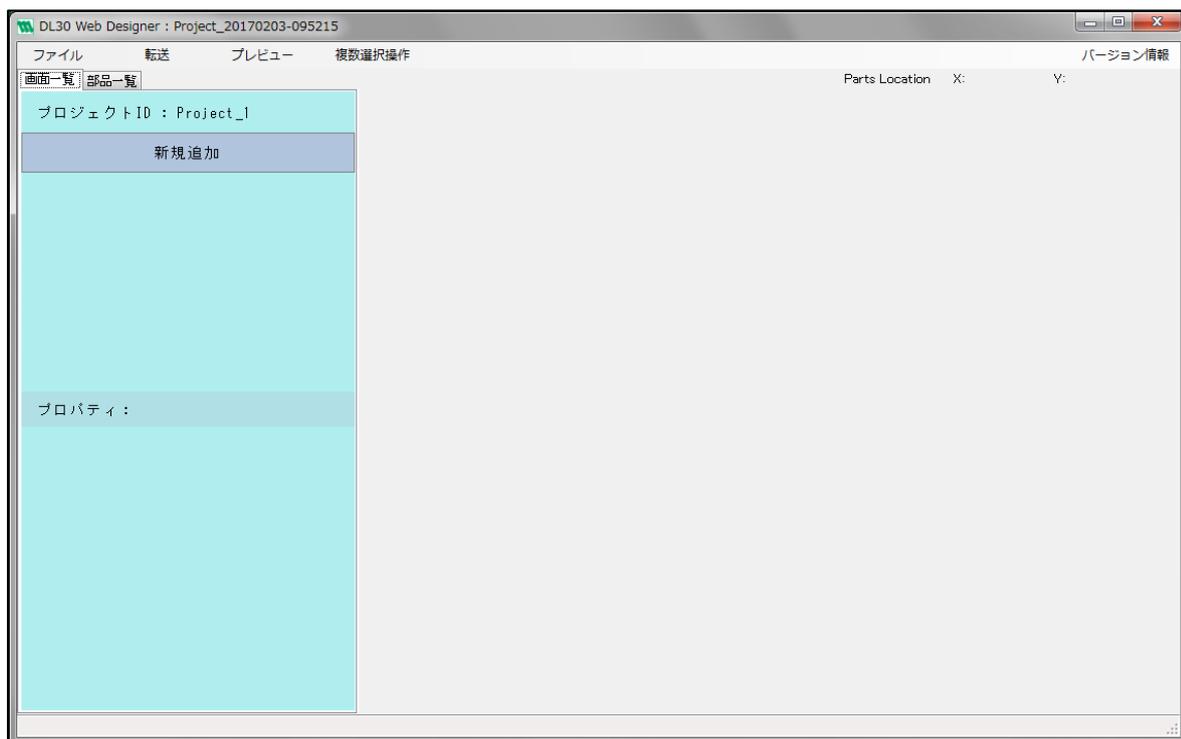
3. プロジェクト

3.1 プロジェクトの保存先を登録する

- ① 初回起動時のみ「プロジェクト保存先フォルダ設定画面」が表示されます。
- ② 「フォルダを選択」ボタンをクリックして、プロジェクトの保存先を選択します。
- ③ 「登録」ボタンをクリックします。



[メイン画面]が表示されます。



3.2 新規プロジェクトを作成する

ヘッダーの「ファイル」メニューを開き、「新規」をクリックします。

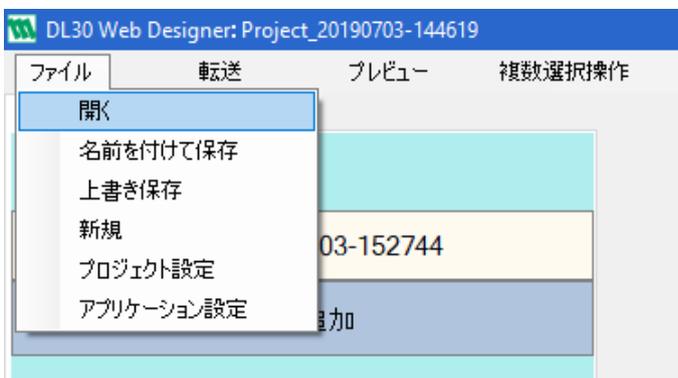


- ① [新規プロジェクト画面]が表示されます。
- ② 初期値として新規プロジェクトの情報が入力されています。
- ③ 作成した画面を送信する Web ロガー2 の形式を「形式」から選択します。
- ④ 必要に応じて編集を行い、「登録」ボタンをクリックします。



3.3 既存プロジェクトを開く

- ① ヘッダーの「ファイル」メニューを開き、「開く」をクリックします。
- ② 開きたいプロジェクトファイルを選択します。



3.4 プロジェクトを上書き保存する

- ① ヘッダーの「ファイル」メニューを開き、「上書き保存」をクリックします。
- ② 保存処理後、完了メッセージが表示されます。

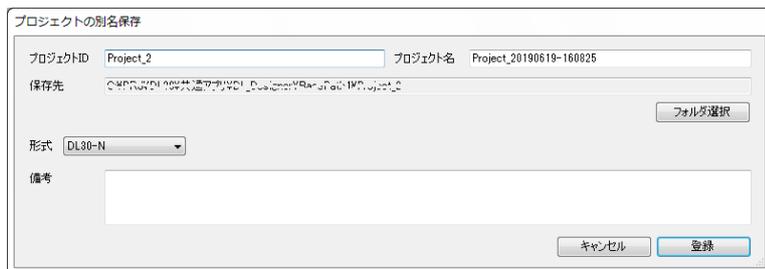


3.5 プロジェクトに名前を付けて保存する

ヘッダーの「ファイル」メニューを開き、「名前を付けて保存」をクリックします。



- ① [プロジェクトの別名保存画面]が表示されます。
- ② 初期値として新規プロジェクトの情報が入力されています。必要に応じて編集を行い、「登録」ボタンをクリックします。
- ③ 保存処理後、完了メッセージが表示されます。



3.6 プロジェクト設定を変更する

ヘッダーの「ファイル」メニューを開き、「プロジェクト設定」をクリックします。



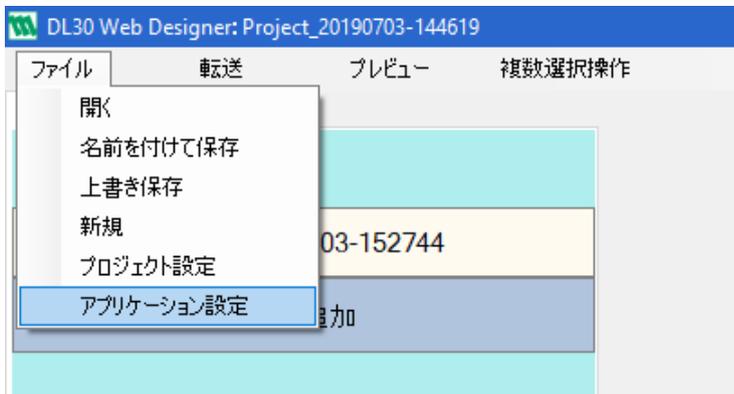
- ① [プロジェクト設定画面]が表示されます。
- ② 必要に応じて編集を行い、「登録」ボタンをクリックします。

特記事項

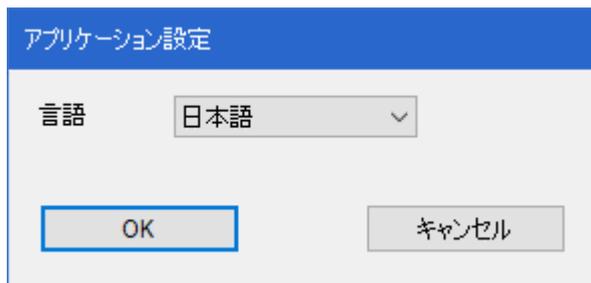
- 形式の変更は DL30-N から DL30-G への変更のみ可能です。変更後は DL30-N へ形式を戻すことはできません。

3.7 アプリケーション設定を変更する

ヘッダーの「ファイル」メニューを開き、「アプリケーション設定」をクリックします。



- ① [アプリケーション設定画面]が表示されます。
- ② 本アプリケーションの言語を英語／日本語から選択し、「OK」ボタンをクリックします。



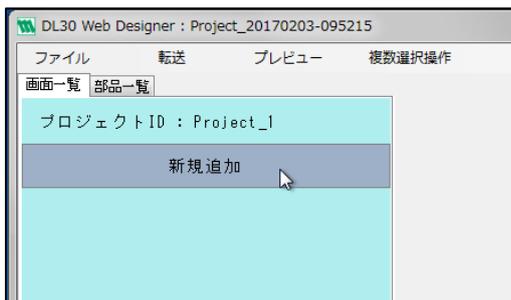
特記事項

- 設定変更を有効にするには、本ソフトウェアを再起動してください。
- プロジェクトの言語もこの設定に従います。作成するプロジェクトの言語に合わせてアプリケーション設定を行い、画面の作成および転送を行ってください。

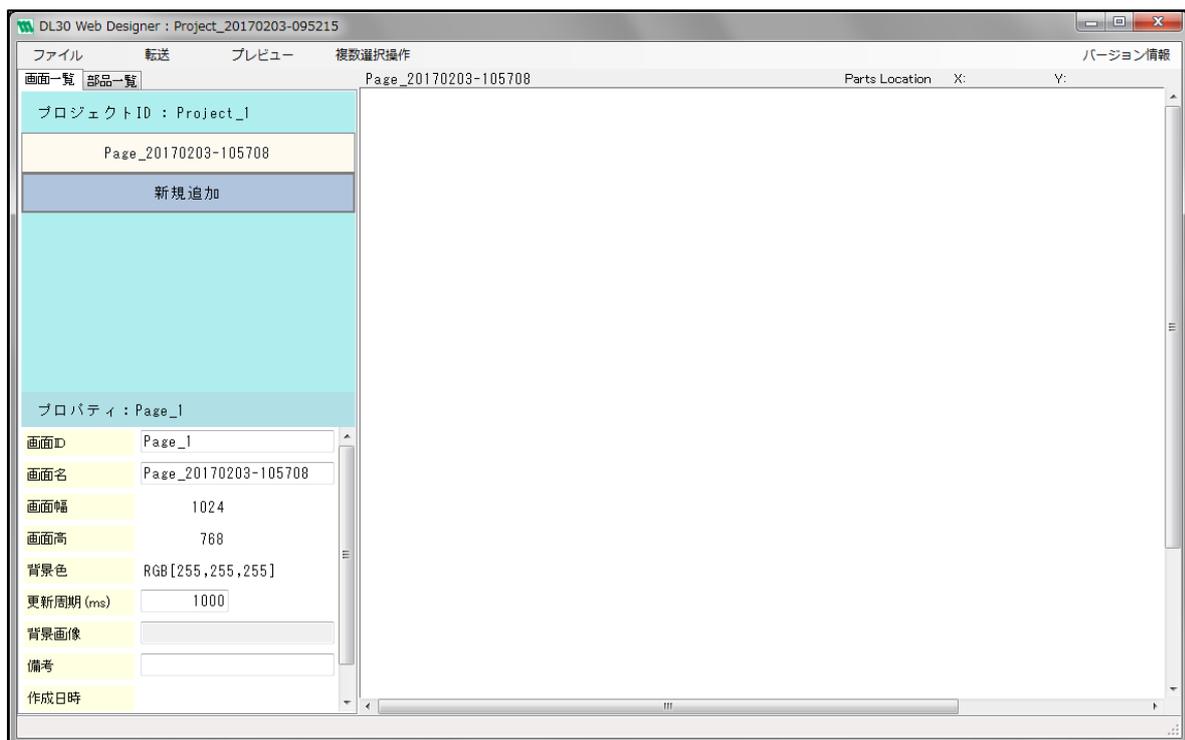
4. 画面

4.1 画面を追加する

- ① プロジェクトを開いた状態で、「画面一覧」タブをクリックします。
- ② 画面一覧から「新規追加」ボタンをクリックします。

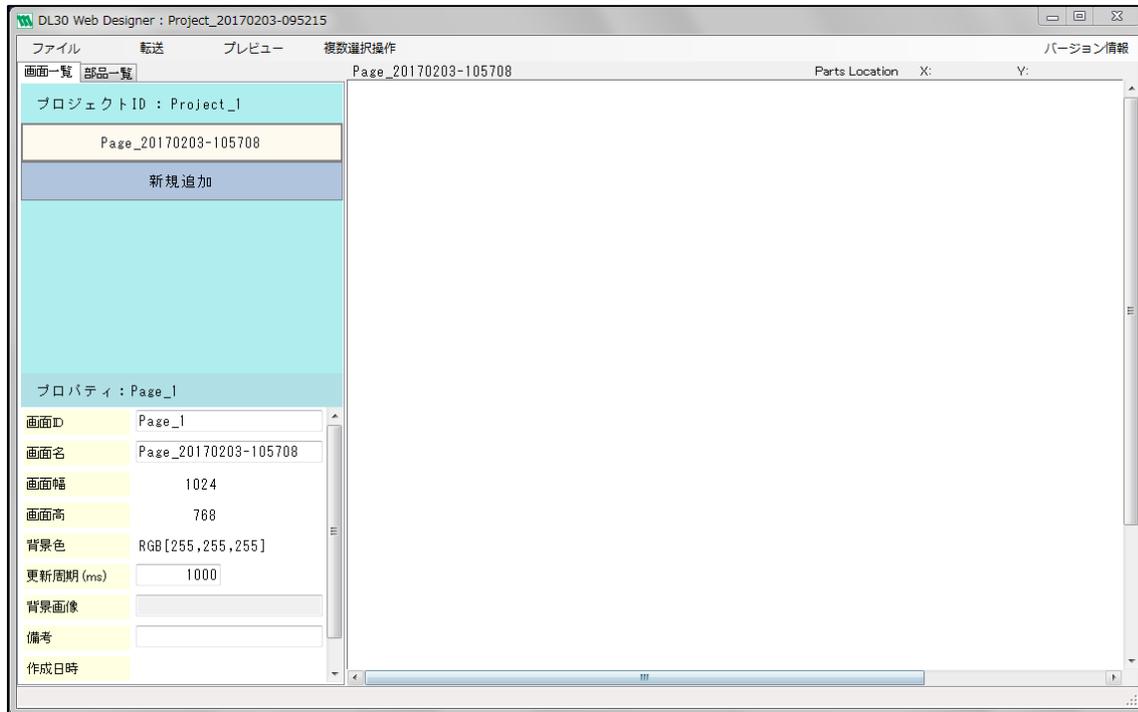


画面一覧に新しい画面が追加されます。



4.2 画面のプロパティを編集する

- ① プロジェクトを開いた状態で、「画面一覧」タブをクリックします。
- ② 画面一覧から編集する画面を選択し、プロパティを編集します。

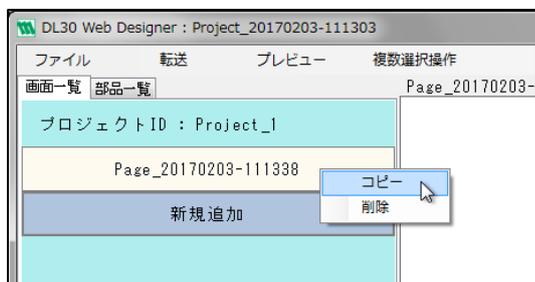


■ 画面プロパティ

プロパティ名	説明
画面 ID	画面のファイル名になります。(半角英数と「-」「_」の 19 文字以内)
画面名	画面一覧で表示される画面名称です。
画面幅	画面の幅(1024 固定)
画面高	画面の高さ(768 固定)
背景色	画面の背景色を設定します。
更新周期	画面の自動更新周期を設定します。(0 または 100~999999999 ms) ※0 の場合自動更新を行いません。
背景画面	画面の背景画像を設定します。
備考	画面には表示されません。画面のメモ等に使用します。
作成日時	画面の作成日時が自動で登録されます。
更新日時	画面の更新日時が自動で登録されます。

4.3 画面をコピーする

- ① プロジェクトを開いた状態で、「画面一覧」タブをクリックします。
- ② 画面一覧からコピーする画面を右クリックしてサブメニューを開き、「コピー」をクリックします。



対象の画面が、画面一覧にコピーされます。



4.4 画面を削除する

- ① プロジェクトを開いた状態で、「画面一覧」タブをクリックします。
- ② 画面一覧から削除する画面を右クリックしてサブメニューを開き、「削除」をクリックします。

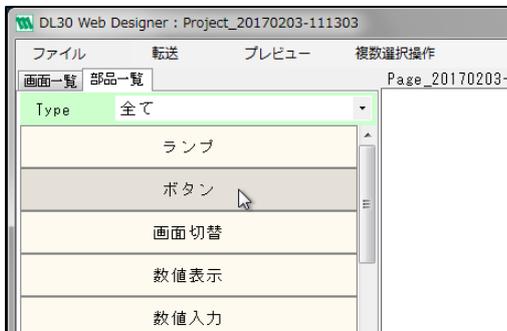


対象の画面が、画面一覧から削除されます。

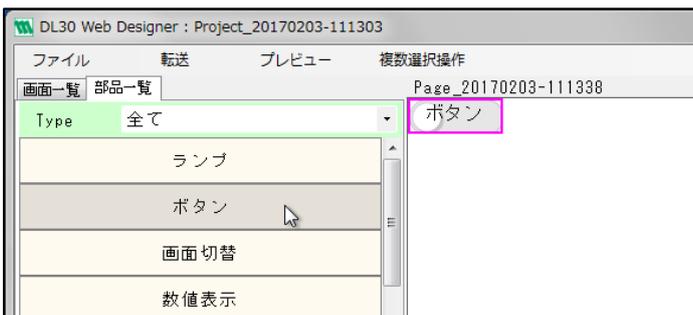


4.5 部品を配置する

- ① 画面を選択した状態で、「部品一覧」タブをクリックします。
- ② 部品一覧から画面に配置したい部品を選択します。



- ① 選択した部品が、画面左上に配置されます。
- ② プロパティには、選択した部品の情報が表示されます。

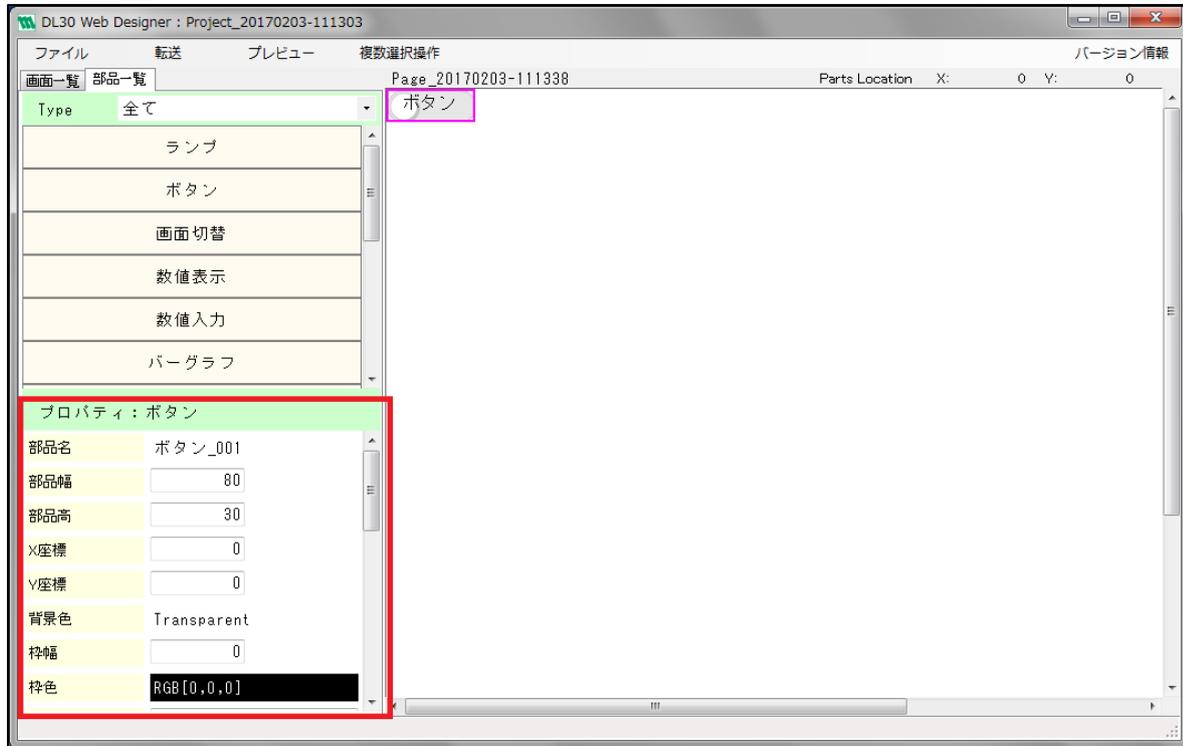


■ 部品の種類

部品名	備考
ランプ	デジタル I/O チャンネルの On/Off 状態を表示します。
ボタン	デジタル I/O チャンネルの On/Off 状態の表示、操作を行います。
画面切替	指定した画面への切り替えを行います。
数値	アナログ I/O チャンネルの数値表示や、入力を行います。数値表示、数値入力の 2 種類があります。
バーグラフ	アナログ I/O チャンネルの数値を棒グラフ形式で表示します。
状態情報	デジタル I/O チャンネルの On/Off 表示名や、アナログ I/O チャンネルの領域名称を表示します。
テキスト	任意の文字列を表示します。
装置情報	Web ロガー 2 の現在年月日、時刻、名称を表示します。
図	図形や画像を表示します。直線、四角形、三角形、円、画像の 5 種類があります。

4.6 部品のプロパティを編集する

部品を選択し、画面左下のプロパティ欄を編集します。



4.6.1 共通

すべての部品で設定可能な、共通のプロパティです。

■ 共通プロパティ

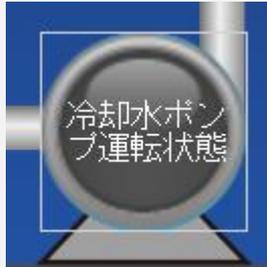
プロパティ名	説明
部品名	部品を画面に追加した時に自動で定義される名称です(編集不可)。画面には表示されません。
部品幅	部品の幅を設定します。
部品高	部品の高さを設定します。
X座標	画面左端からの部品の座標を設定します。
Y座標	画面上部からの部品の座標を設定します。
背景色 ※1	部品の背景色を設定します。
枠幅 ※2	部品の枠幅を設定します。枠幅が0の場合、枠は表示されません。
枠色 ※2	部品の枠色を設定します。

※1: 直線には無いプロパティです。

※2: 三角形には無いプロパティです。

特記事項

- 各部品の「テキスト」プロパティに文字を入力する際、作画画面では部品の枠幅一杯になると自動的に改行して表示されますが、Web ロガー2 に送信して Web ブラウザで表示する場合やプレビュー画面で表示する場合は 1 行目までの表示となり、改行した文字は表示されません。また、作画画面で 1 行の中に表示されていても Web ブラウザやプレビューでの表示は必ず一致するとは限らないため、部品の枠幅は余裕を持たせるようにしてください。



作画画面上のテキスト入力状態
(枠幅を超えると改行して表示)



Web ブラウザ、プレビューでのテキスト表示状態
(1 行目だけ表示される)

4.6.2 ランプ

指定したチャンネルの On/Off 状態を画像やテキストで表示します。

対象チャンネル: DI、MD、DO、GDO

■ ランププロパティ

プロパティ名	説明
Off テキスト	Off 状態のときに表示する文字列を設定します。
Off 文字サイズ	Off テキストの文字サイズを設定します。
Off 文字位置	Off テキストの文字の横方向表示位置を設定します。
Off 文字色	Off テキストの文字色を設定します。
Off 画像	Off 状態の時に表示する画像を設定します。
Off 画像表示	Off 状態の時に表示する画像の部品枠内の表示方法を設定します。 元のサイズ: オリジナルの画像サイズで表示します。 全体: 部品枠全体に表示します。 横: 部品枠の横方向一杯に表示します。(縦方向は元のサイズのまま) 縦: 部品枠の縦方向一杯に表示します。(横方向は元のサイズのまま)
On テキスト	On 状態のときのプロパティです。 内容は該当する Off プロパティと同様です。
On 文字サイズ	
On 文字位置	
On 文字色	
On 画像	
On 画像表示	
初期表示状態	画面表示直後に Web ログ 2 から最初のデータを取得するまでの表示状態を設定します。
CH	状態を表示するチャンネルを設定します。

特記事項

- GDO チャンネルが選択できるのは「プロジェクト設定」で形式を「DL30-G」に設定している場合です。ほかの部品についても同様です。

4.6.3 ボタン

指定したチャンネルの On/Off 状態を画像やテキストで表示し、必要に応じて操作を行うことができます。

対象チャンネル: MD、DO、GDO

■ ボタンプロパティ

プロパティ名	説明
Off テキスト	Off 状態のときに表示する文字列を設定します。
Off 文字サイズ	Off テキストの文字サイズを設定します。
Off 文字位置	Off テキストの文字の横方向表示位置を設定します。
Off 文字色	Off テキストの文字色を設定します。
Off 画像	Off 状態の時に表示する画像を設定します。
Off 画像表示	Off 状態の時に表示する画像の部品枠内の表示方法を設定します。 元のサイズ: オリジナルの画像サイズで表示します。 全体: 部品枠全体に表示します。 横: 部品枠の横方向一杯に表示します。(縦方向は元のサイズのまま) 縦: 部品枠の縦方向一杯に表示します。(横方向は元のサイズのまま)
On テキスト	On 状態のときのプロパティです。 内容は該当する Off プロパティと同様です。
On 文字サイズ	
On 文字位置	
On 文字色	
On 画像	
On 画像表示	
変更確認	On/Off 操作時の変更確認メッセージの表示有無を設定します。
初期表示状態	画面表示直後に Web ログ-2 から最初のデータを取得するまでの表示状態を設定します。
モード	ボタン操作時のモードを設定します。 On: 状態に関係なく On 操作を行います。 Off: 状態に関係なく Off 操作を行います。 ALT: On のときに Off、Off のときに On 操作を行います。 MOM: マウスをクリックしたタイミングで On 操作を行い、マウスを放したタイミングで Off 操作を行います。
CH	状態の表示、操作を行うチャンネルを設定します。

4.6.4 画面切替

指定した画面を表示します。

■画面切替プロパティ

プロパティ名	説明
テキスト	表示する文字列を設定します。テキストが空欄の場合、画面を切り替えることができないため、必ず設定してください。
文字サイズ	テキストの文字サイズを設定します。
文字位置	テキストの文字の横方向表示位置を設定します。
文字色	テキストの文字色を設定します。
リンク URL	表示する画面の URL を設定します。作成した画面を指定する場合は、「画面ID」+「.html」を設定します。(例: 画面 ID が「Page_1」の場合「Page_1.html」となります)
画像	必要に応じて背景画像を設定します。
画像表示	部品枠内の画像の表示方法を設定します。 元のサイズ: オリジナルの画像サイズで表示します。 全体: 部品枠全体に表示します。 横: 部品枠の横方向一杯に表示します。(縦方向は元のサイズのまま) 縦: 部品枠の縦方向一杯に表示します。(横方向は元のサイズのまま)

4.6.5 数値表示

指定したチャンネルの数値を表示します。

対象チャンネル: AI、PI、MA、AO

■数値表示プロパティ

プロパティ名	説明
初期値	画面表示直後に Web ログ-2 から最初のデータを取得するまで表示する値を設定します。
文字サイズ	数値の文字サイズを設定します。
文字色	数値の文字色を設定します。
小数点以下桁数	表示する小数点以下桁数を設定します。切り捨て表示となります。
桁区切り	数値を 3 桁ずつの桁区切り形式で表示する場合、「有り」に設定します。
文字位置	数値の横方向表示位置を設定します。
CH	数値を表示するチャンネルを設定します。

4.6.6 数値入力

指定したチャンネルの数値を表示し、必要に応じて数値を入力することが出来ます。

対象チャンネル: MA、AO

■数値入力プロパティ

プロパティ名	説明
初期値	画面表示直後に Web ログ-2 から最初のデータを取得するまで表示する値を設定します。
文字サイズ	数値の文字サイズを設定します。
文字色	数値の文字色を設定します。
小数点以下桁数	表示する小数点以下桁数を設定します。切り捨て表示となります。
桁区切り	数値を 3 桁ずつの桁区切り形式で表示する場合、「有り」に設定します。
文字位置	数値の横方向表示位置を設定します。
変更確認	数値入力時の変更確認メッセージの表示有無を設定します。
入力上限値	数値の入力上限値を設定します。
入力下限値	数値の入力下限値を設定します。
CH	数値を表示、入力するチャンネルを設定します。

4.6.7 バーグラフ

指定したチャンネルの値を棒グラフ形式で表示します。

対象チャンネル: AI、PI、MA、AO

■バーグラフプロパティ

プロパティ名	説明
グラフ色	グラフの色を設定します。
最大値	100%時の値を設定します。
最小値	0%時の値を設定します。
方向	グラフ表示の方向を設定します。
CH	グラフを表示するチャンネルを設定します。

4.6.8 状態情報

指定したチャンネルの現在の領域名称や On/Off の表示文字列を表示します。

領域名称を表示するチャンネル: AI、PI、MA、AO

表示文字列を表示するチャンネル: DI、PI、DO、GDO

■状態情報プロパティ

プロパティ名	説明
文字サイズ	表示される文字の文字サイズを設定します。
文字色	表示される文字の文字色を設定します。
文字位置	表示される文字の横方向表示位置を設定します。
CH	状態を表示するチャンネルを設定します。
背景色	設定は無効です。指定したチャンネルの領域色または表示色が表示されます。

4.6.9 テキスト

任意の文字列を表示します。

■テキストプロパティ

プロパティ名	説明
テキスト	表示する文字列を設定します。
文字サイズ	テキストの文字サイズを設定します。
文字位置	テキストの横方向表示位置を設定します。
文字色	テキストの文字色を設定します。

4.6.10 装置情報

Web ログ-2 の現在年月日、現在時刻、名称 (Web 画面の各画面最上部に表示されている内容) を表示します。

■装置情報プロパティ

プロパティ名	説明
文字サイズ	表示文字の文字サイズを設定します。
文字色	表示文字の文字色を設定します。
文字位置	表示文字の横方向表示位置を設定します。
表示内容	表示する項目を設定します。年月日、時刻の表示フォーマットは以下の通りです。 年月日: YYYY/MM/DD (例: 2017/01/24) 時刻: HH/MM/SS (例: 14:37:05)

4.6.11 直線

任意の直線を表示します。

■直線プロパティ

プロパティ名	説明
縦/横/斜	直線の種類を設定します。 ※直線は四角形を描画し、表示する辺を選択する仕様となっています。

4.6.12 四角形

任意の四角形を表示します。

■三角形プロパティ

プロパティ名	説明
回転	必要に応じて回転角度を設定し、図形を回転させます。

4.6.13 三角形

任意の三角形を表示します。

■三角形プロパティ

プロパティ名	説明
種類	三角形の種類を設定します。二等辺三角形、直角三角形(左向き)、直角三角形(右向き)が選択可能です。
回転	必要に応じて回転角度を設定し、図形を回転させます。

4.6.14 円

任意の円を表示します。

■円プロパティ

プロパティ名	説明
回転	必要に応じて回転角度を設定し、図形を回転させます。

4.6.15 画像

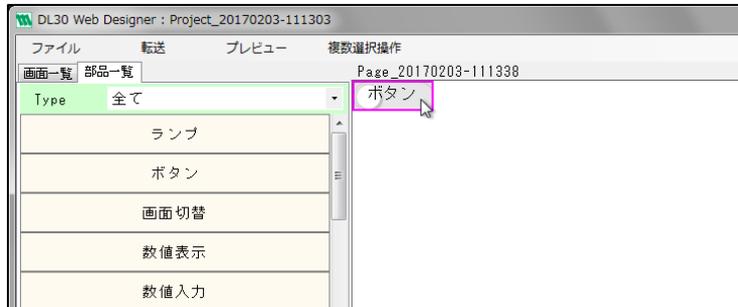
任意の画像を表示します。

■ 画像プロパティ

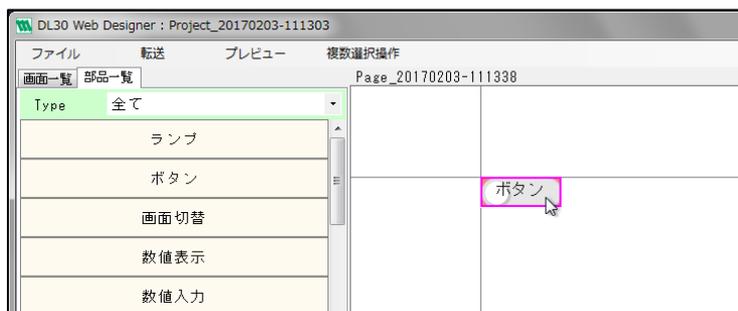
プロパティ名	説明
テキスト	必要に応じて文字列を設定します。
文字サイズ	テキストの文字サイズを設定します。
文字位置	テキストの横方向表示位置を設定します。
文字色	テキストの文字色を設定します。
画像	表示する画像を設定します。
画像表示	画像の部品枠内の表示方法を設定します。 元のサイズ: オリジナルの画像サイズで表示します。 全体: 部品枠全体に表示します。 横: 部品枠の横方向一杯に表示します。(縦方向は元のサイズのまま) 縦: 部品枠の縦方向一杯に表示します。(横方向は元のサイズのまま)

4.7 部品を移動する

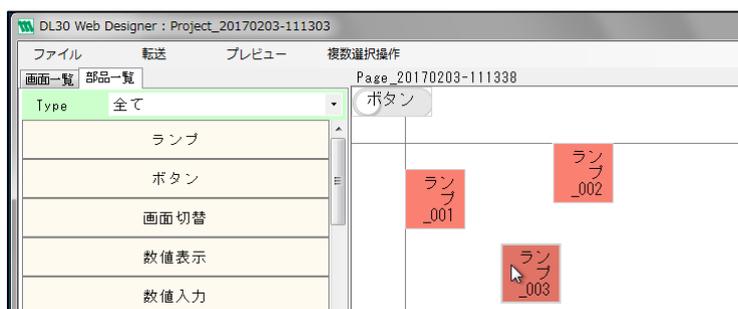
配置された部品をドラッグして移動します。



- ① ドラッグ中はガイドラインが表示されます。
- ② プロパティの X 座標と Y 座標は、移動した位置情報に自動更新されます。

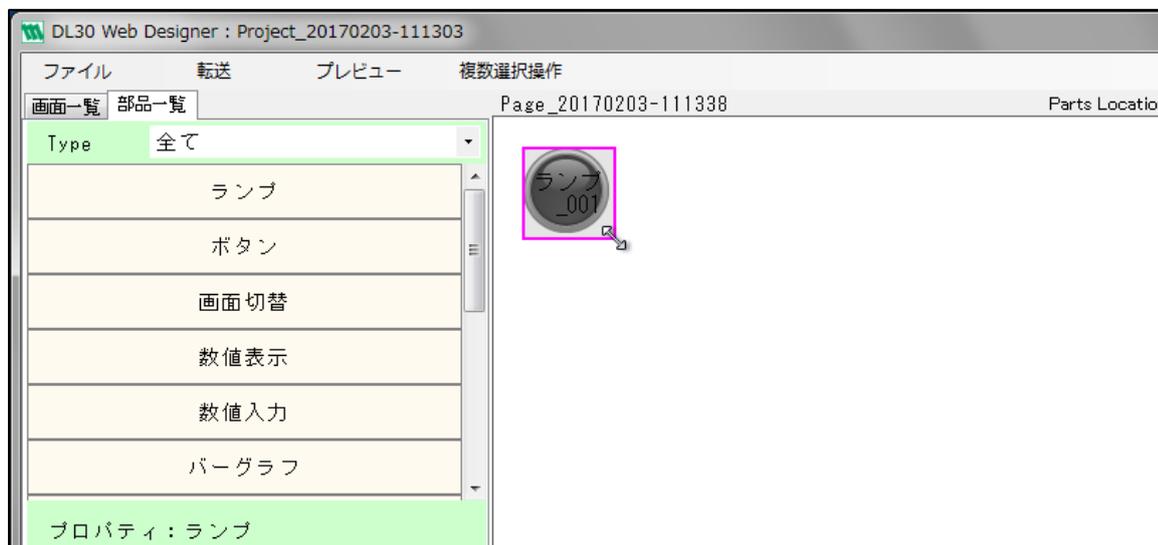


複数の部品を選択してから(参照:[4.10 部品を整列する](#))、部品をドラッグして移動することも可能です。



4.8 部品をリサイズ(サイズ変更)する

- ① 配置された部品の辺または角にカーソルを合わせます。(カーソルが伸縮方向表示になります。)
- ② その状態で、ドラッグして部品をリサイズします。



プロパティの部品幅と部品高は、リサイズした情報に自動更新されます。

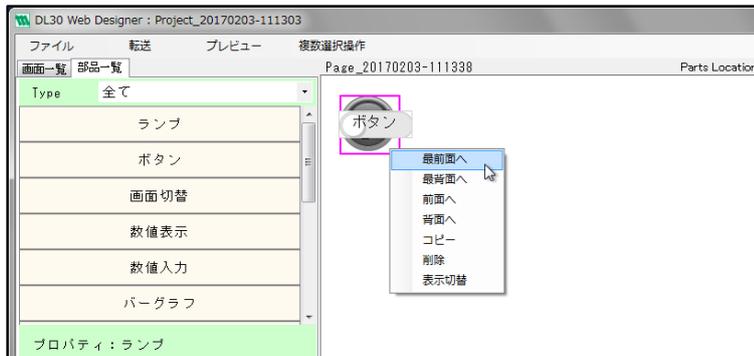


特記事項

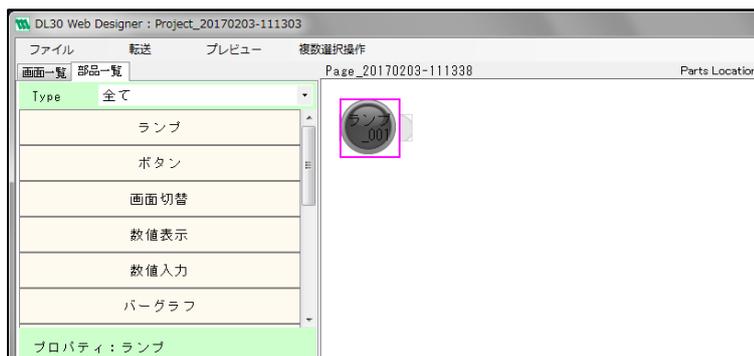
- 部品内の画像もドラッグに合わせて変化させるには、部品の Off 画像表示、On 画像表示のプロパティを「全体」に設定しておく必要があります。

4.9 部品のレイヤ(表示階層)を操作する

各部品は階層構造になっており、部品同士を重ねると後で作成された部品の方が上に重ねて表示されます。レイヤ操作したい部品を**右クリック**してサブメニューを開き、レイヤの移動先(最前面へ、最背面へ、前面へ、背面へ)を選択します。



対象の部品のレイヤが変更されます。

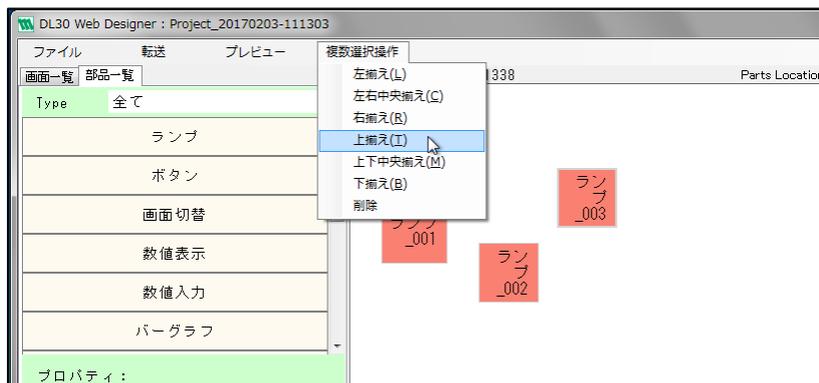


4.10 部品を整理する

部品以外のところからドラッグを開始し、複数の部品をガイド枠で囲みます。



- ① ドラッグを解放すると、ガイド枠に囲まれていた部品が選択状態になります。
- ② ヘッダーの「複数選択操作」メニューを開き、配置方法(左揃え、左右中央揃え、右揃え、上揃え、上下中央揃え、下揃え)を選択します。



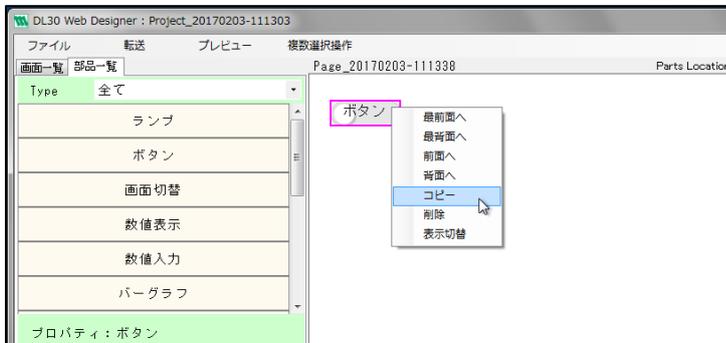
※Ctrl キーをクリックしながら部品を選択すると、その部品の選択状態を切り替えることができます。

対象の部品が、選択した配置方法で整理されます。



4.11 部品をコピーする

コピーしたい部品を右クリックしてサブメニューを開き、「コピー」をクリックします。



対象の部品がコピーされます。

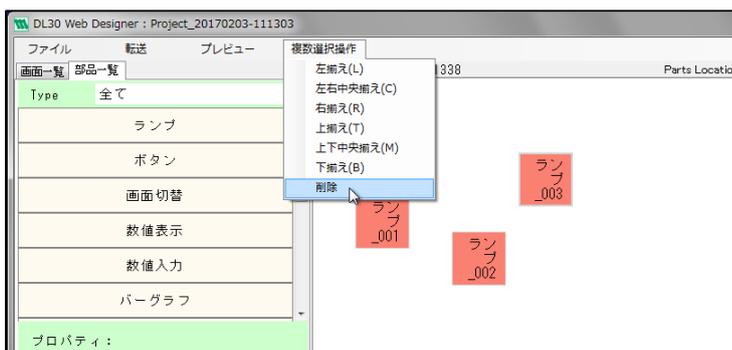


4.12 部品を削除する

削除したい部品を右クリックしてサブメニューを開き、「削除」をクリックします。



または、複数の部品を選択してから(参照:[4.10 部品を整列する](#))、ヘッダーの「複数選択操作」メニューを開き、削除を選択します。

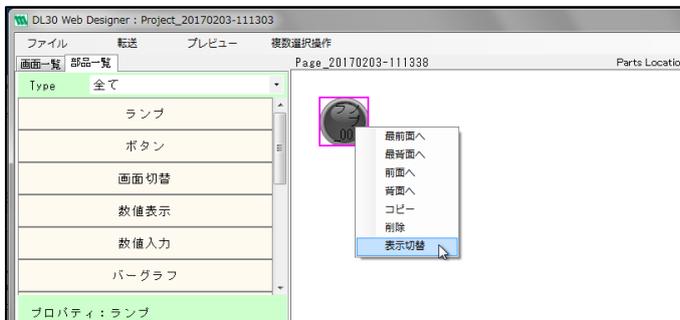


対象の部品が削除されます。



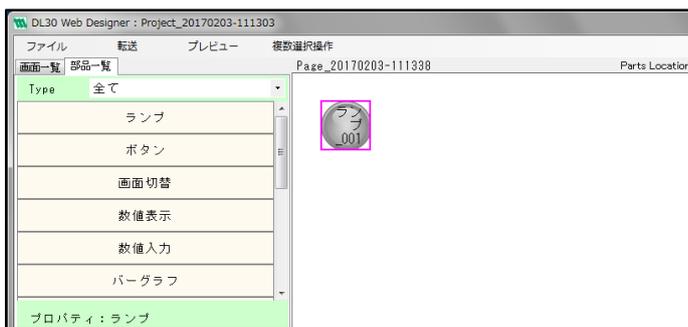
4.13 部品の初期表示状態を切り替える

初期表示状態を切り替えたい部品を右クリックしてサブメニューを開き、「表示切替」をクリックします。



※「表示切替」メニューは、ボタンとランプのみ表示されます。

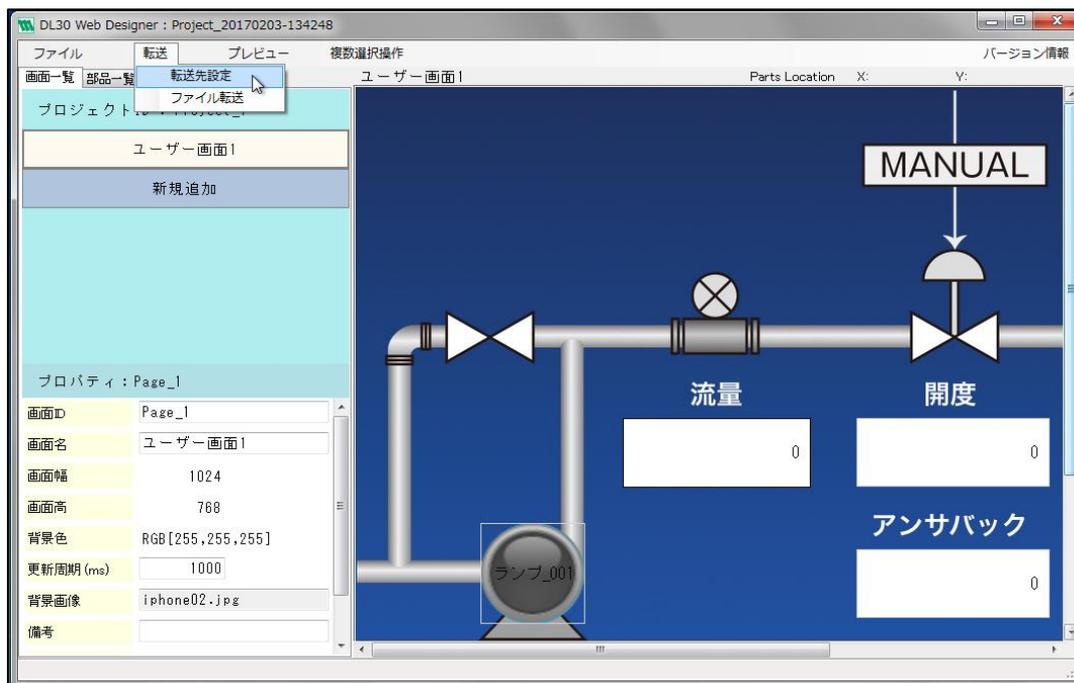
対象の部品の表示状態と初期表示状態プロパティが切り替わります。



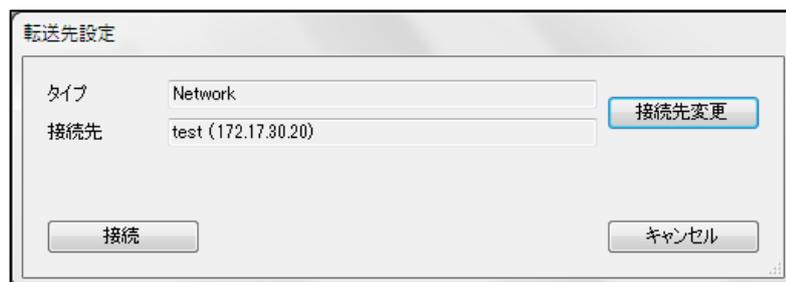
5. Web ロガー-2 との接続

5.1 接続先を確認する

ヘッダーの「転送」メニューを開き、「転送先設定」をクリックします。



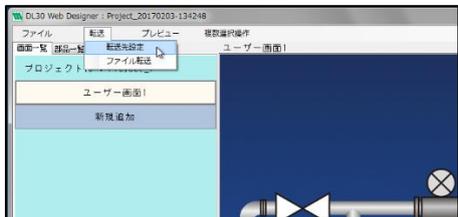
[転送先設定画面]が開き、現在の接続タイプと接続先が表示されます。



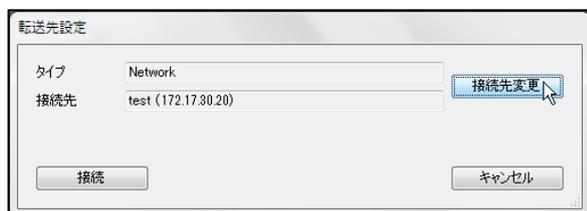
※未接続の場合、接続先には何も表示されません。

5.2 接続先を設定する(ネットワーク)

ヘッダーの「転送」メニューを開き、「転送先設定」をクリックします。



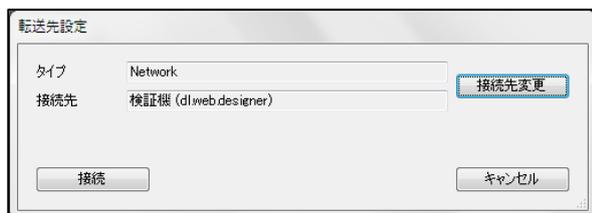
- ① [転送先設定画面]が開き、現在の接続タイプと接続先が表示されます。
- ② 「接続先変更」ボタンをクリックします。



- ① [通信設定画面]が開きます。
- ② ネットワークを選択し、ネットワークリストから接続先を選択します。必要に応じてポート番号を編集します。
- ③ 「OK」ボタンをクリックします。

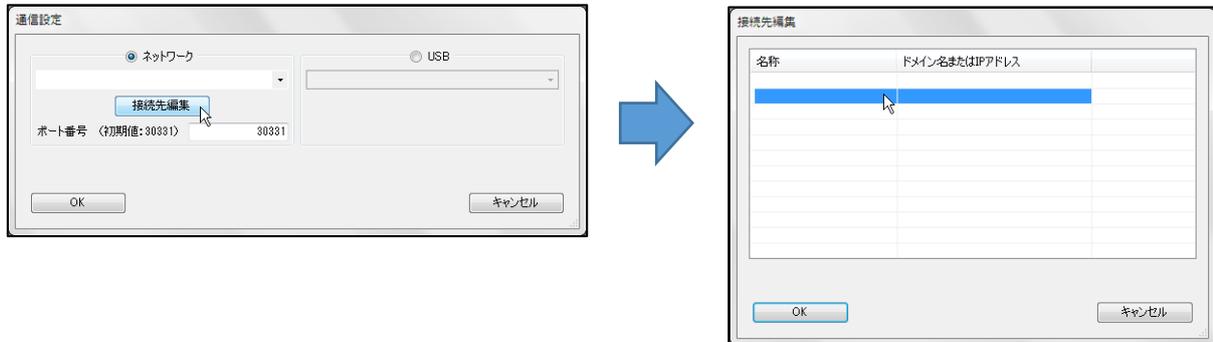


- ① [転送先設定画面]に戻り、選択した接続タイプと接続先が表示されます。
- ② 「接続」ボタンをクリックします。接続処理後、完了メッセージが表示されます。

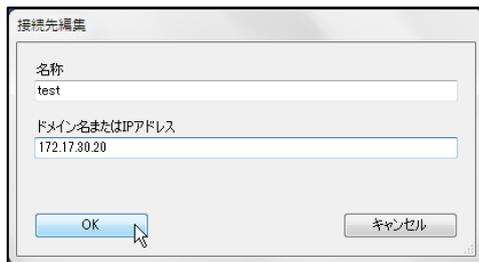


5.2.1 ネットワークリストに接続先を追加する

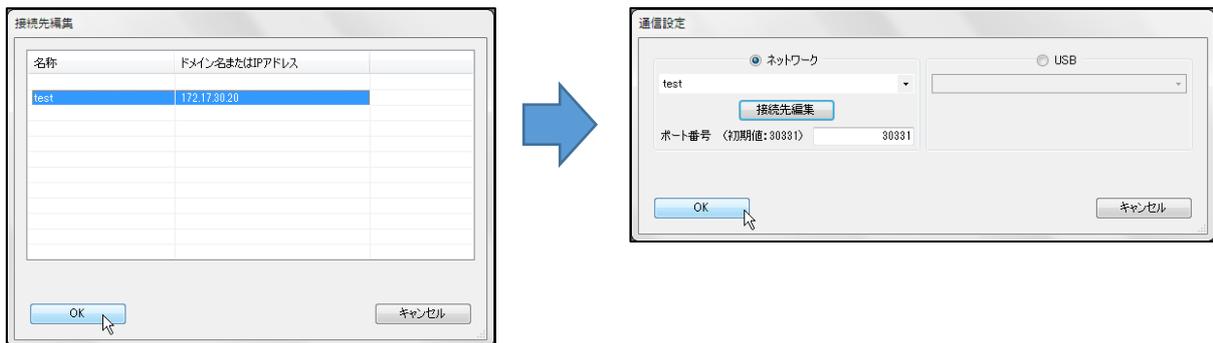
- ① [通信設定画面]でネットワークを選択し、「接続先編集」ボタンをクリックします。
- ② [接続先編集(一覧)画面]が開きます。
- ③ 空の行をダブルクリックします。



- ① [接続先編集画面]が開きます。
- ② 追加する接続先情報を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



- ① [接続先編集(一覧)画面]に戻り、追加した接続先情報が一覧に反映されます。
- ② 「OK」ボタンをクリックし、[通信設定画面]に戻ります。
- ③ 追加した接続先情報が、ネットワークリストに表示されます。

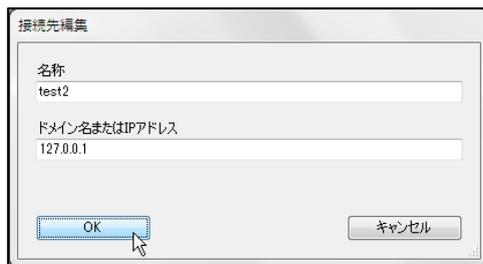


5.2.2 ネットワークリストの接続先を変更する

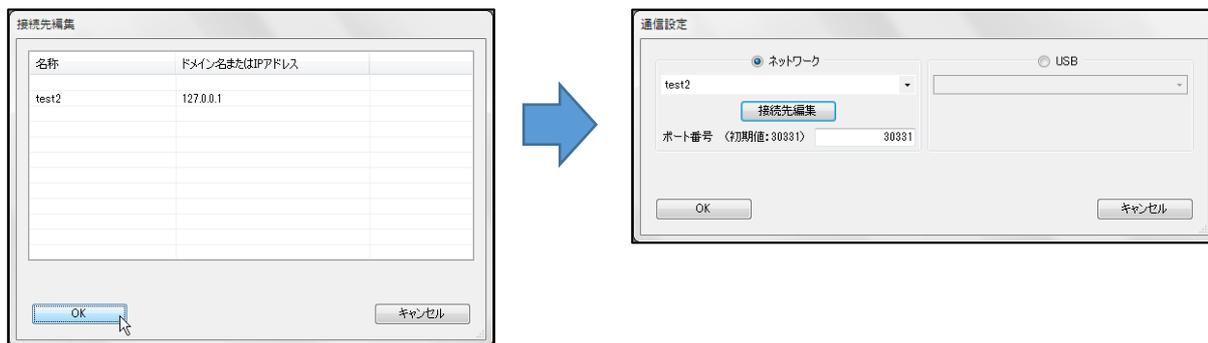
- ① [通信設定画面]でネットワークを選択し、「接続先編集」ボタンをクリックします。
- ② [接続先編集(一覧)画面]が開きます。
- ③ 変更する接続先情報の行をダブルクリックします。



- ① [接続先編集画面]が開きます。
- ② 接続先情報を変更し、「OK」ボタンをクリックします。



- ① [接続先編集(一覧)画面]に戻り、変更した接続先情報が一覧に反映されます。
- ② 「OK」ボタンをクリックし、[通信設定画面]に戻ります。
- ③ 変更した接続先情報が、ネットワークリストに表示されます。

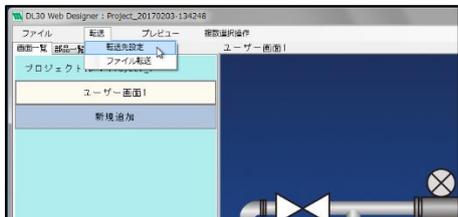


特記事項

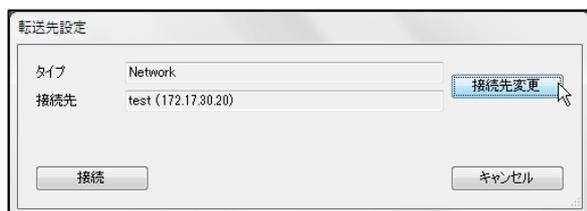
- ポート番号の初期設定値が DL30-N (初期値: 30331) と、DL30-G (初期値: 30341) とで異なるため、接続する際には接続先 Web ロガー-2 のポート番号を確認してください。

5.3 接続先を設定する(USB)

ヘッダーの「転送」メニューを開き、「転送先設定」をクリックします。



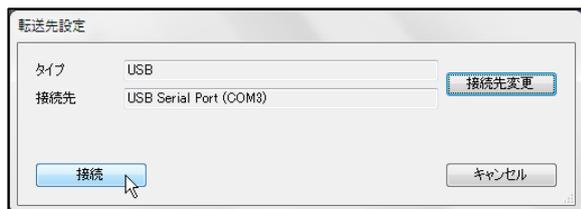
- ① [転送先設定画面]が開き、現在の接続タイプと接続先が表示されます。
- ② 「接続先変更」ボタンをクリックします。



- ① USB を選択します。
- ② USB リストから接続先を選択します。
- ③ 「OK」ボタンをクリックします。

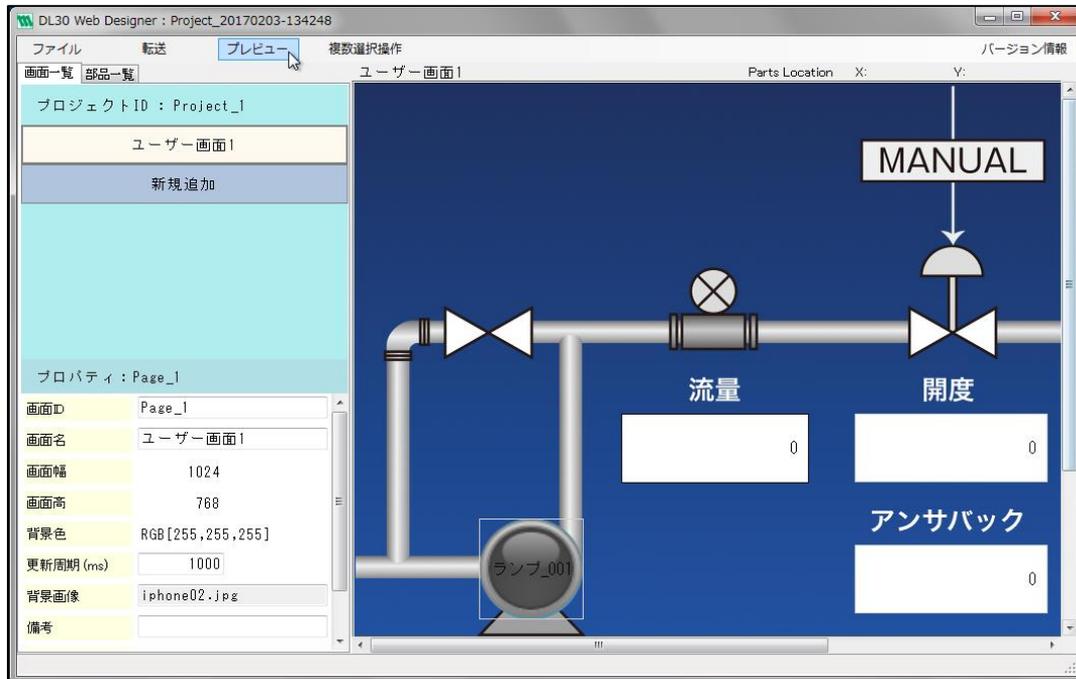


- ① [転送先設定画面]に戻り、選択した接続タイプと接続先が表示されます。
- ② 「接続」ボタンをクリックします。
- ③ 接続処理後、完了メッセージが表示されます。

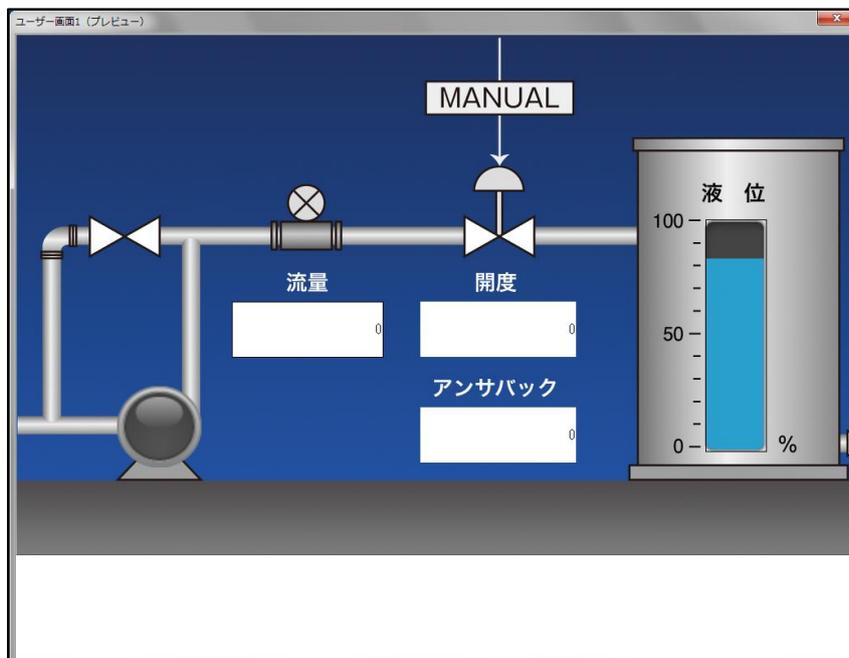


5.4 画面のプレビューを表示する

ヘッダーの「プレビュー」メニューをクリックします。

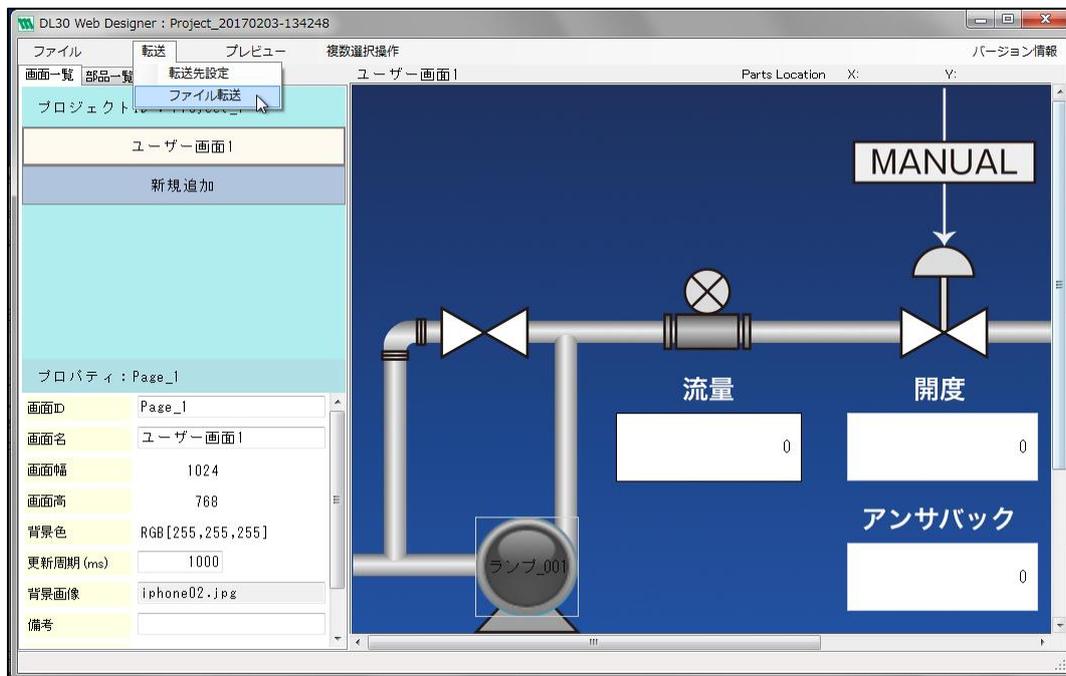


状態を表示するチャンネルの[プレビュー画面]が表示されます。

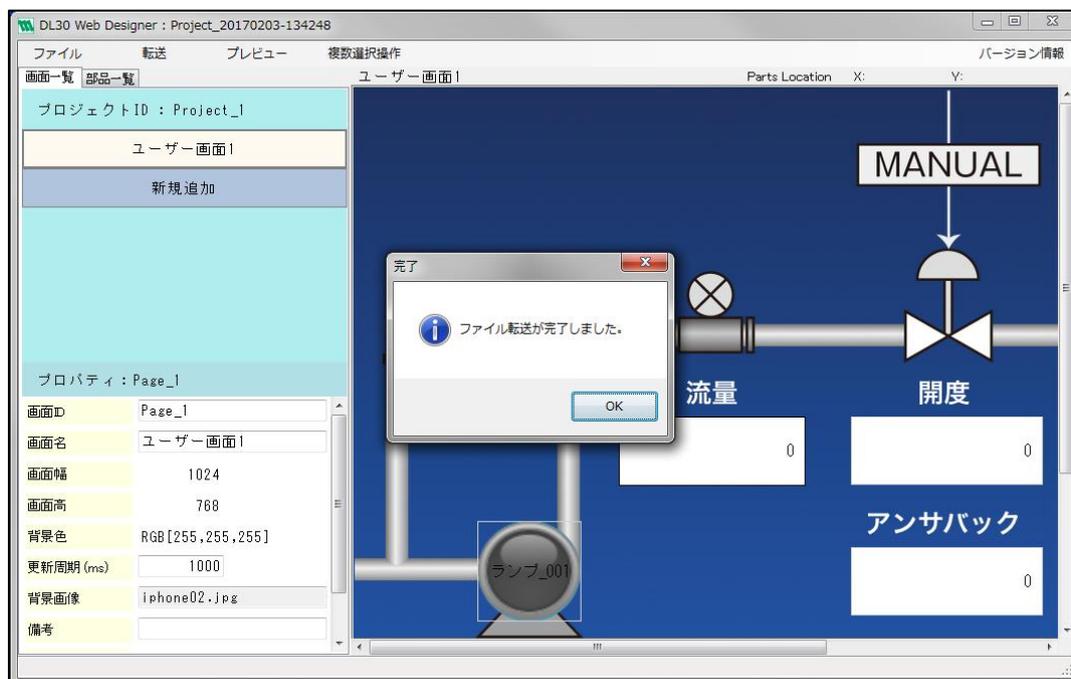


5.5 作成した画面を Web ロガー-2 に転送する

- ① ヘッダーの「転送」メニューを開き、「ファイル転送」をクリックします。
- ② 確認メッセージが表示されます。
- ③ 「OK」ボタンをクリックします。



画面データを生成し、Web ロガー-2 に転送します。



※画面データはプロジェクトの保存先の「Htmls」フォルダ内に生成されます。
※生成ファイルはプロジェクトの保存先の「RomFiles」フォルダ内に生成されます。

5.6 転送した画面を Web ブラウザで表示する

転送したファイルをブラウザで表示させます。

「<http://<Web ロガー2 IP アドレス>/user/<画面 ID>.html>」にアクセスします。

例えば「Page_1.html」を表示するには以下のようなアドレスになります。

本体の IP アドレスが「192.168.0.1」の場合

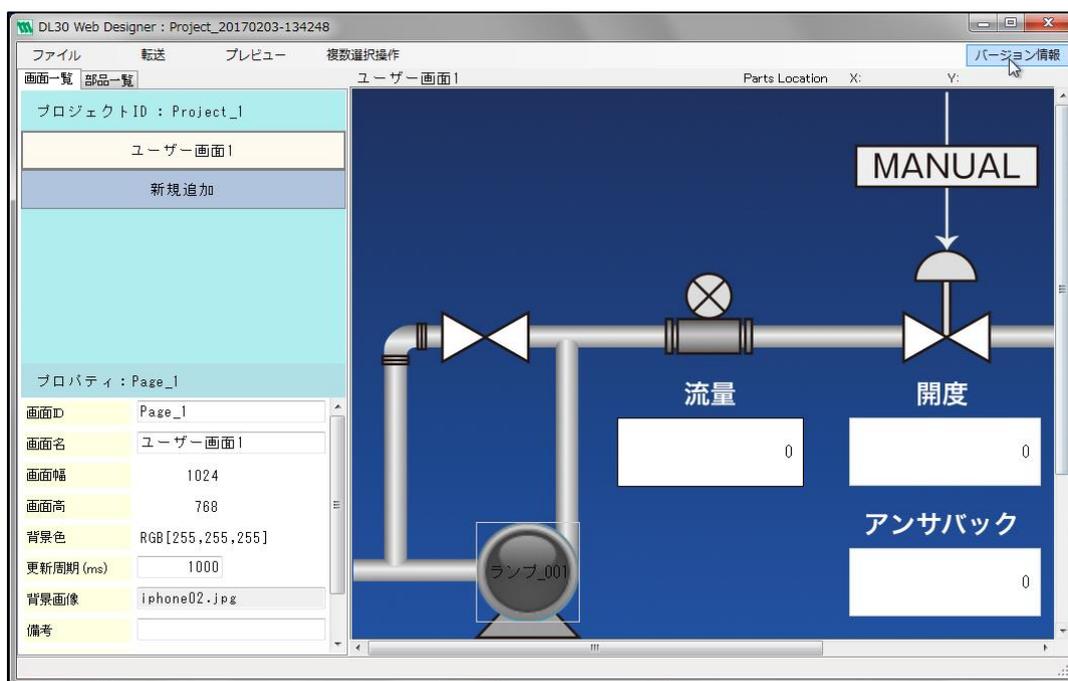
http://192.168.0.1/user/Page_1.html

※<画面 ID>については「[4.2 画面のプロパティを編集する](#)」をご覧ください。

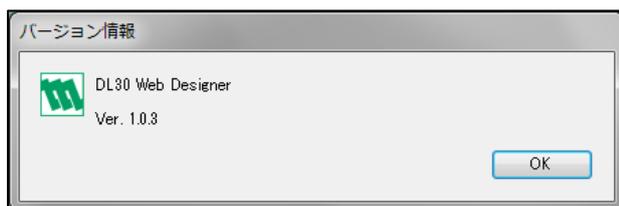
6. バージョン情報

6.1 バージョン情報を表示する

ヘッダーの[バージョン情報]メニューをクリックします。



バージョン情報画面が表示されます。



7. 付録

7.1 仕様

7.1.1 対応 OS

本ツールの動作確認は以下の環境で実施しています。

対応 OS	Windows10 (32bit/64bit) Windows11 (64bit)

7.1.2 対応端末・ブラウザ

本ツールで作成した画面の動作確認は以下の環境で実施しています。

端末	対応ブラウザ
iPad (iPadOS 17.5)	Safari
Android タブレット (Android 14)	Chrome 127.0
Windows (10, 11)	Microsoft Edge 127.0, Firefox 128.0, Chrome 127.0

7.1.3 プロジェクトの仕様

項目	対応方法
容量	1プロジェクト当たりの最大データ容量は 4MB です。
最大ファイルサイズ	1ファイル当たりの最大サイズは 1MB です。
ファイル名	ファイル名は、拡張子を含めて半角 24 文字以内です。 (半角英数と「-」「_」が使用できます)
最大画面数	1プロジェクトで使用できる最大画面数は 20 枚です。
最大部品数	1画面で使用できる部品の最大数は 100 個です。

7.2 トラブルシューティング

7.2.1 画面

項目	対応方法
部品の背景色を透明(Transparent)に設定したい	部品のプロパティ「背景色」を右クリックしてサブメニューを開き、「Transparent」をクリックします。
部品の画像を初期値に戻したい (対象部品:ランプ、ボタン)	部品のプロパティ「On 画像」、「Off 画像」を右クリックしてサブメニューを開き、「Default」をクリックします。
部品の画像を初期値に戻したい (対象部品:画像)	部品のプロパティ「画像」を右クリックしてサブメニューを開き、「Default」をクリックします。
部品の画像を表示しないようにしたい (対象部品:ランプ、ボタン)	部品のプロパティ「On 画像」、「Off 画像」を右クリックしてサブメニューを開き、「画像なし」をクリックします。
部品の画像を表示しないようにしたい (対象部品:画面切替)	部品のプロパティ「画像」を右クリックしてサブメニューを開き、「画像なし」をクリックします。

7.3 変更履歴

7.3.1 Ver1.1 での変更点

- ・ ネットワーク経由でファイル転送したとき、転送に失敗することがある件に対応しました。
- ・ Web ロガー2 用コンフィギュレータソフトウェア(形式:DL30CFG)で、データ画面での表示を「非表示」に設定したチャンネルを、DL30 Web Designer で作成した画面で使用してもデータを表示するようにしました。

7.3.2 Ver2.0 での変更点

- ・ Web ロガー2 と DL30 Web Designer 間のネットワーク通信のセキュリティを改善しました。

7.3.3 Ver2.1 での変更点

- ・ Web ロガー2 とネットワーク経由で接続する際に「DL30_xfer.dll」を読み込みません」というエラーを表示し、DL30 Web Designer を終了する場合があります件に対応しました。
- ・ DL30 Web Designer で作成したユーザー定義画面をブラウザで表示中にネットワークの切断等で通信異常が発生／復帰した場合に、ユーザー定義画面の自動更新が再開されない場合があります件に対応しました。

7.3.4 Ver3.0 での変更点

- ・ ボタンのモードに「MOM」を追加しました。
- ・ DL30 Web Designer を Web ロガー2 の形式「DL30-G」に対応しました。

7.3.5 Ver3.1 での変更点

- ・ アプリケーション設定を追加し、アプリケーションの言語を日本語／英語から選択できるようにしました。

7.3.6 Ver3.2 での変更点

- ・ ボタンのモードを「MOM」に設定した場合に正しく操作できない場合があります件に対応しました。

7.3.7 Ver3.3 での変更点

- ・ 「数値表示」部品で小数点以下桁数を 0～1 にしたときに、不要な四捨五入を行った値を表示する件に対応しました。

7.4 ライセンス

DL30 Web Designer には、以下の Camellia ライセンスの適用を受けるソフトウェアが含まれています。

camellia.c ver 1.2.0

Copyright (c) 2006,2007

NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation) . All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer as the first lines of this file unmodified.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.